



6月定例会 市民から出された請願2本の紹介議員に

たまり～な屋内遊び場 mirocco の利用料金

見直しを求める請願 (子育て中のお母さん)

環境産業委員会少数否決で不採択

本会議でも少数否決で不採択

請願者の思いを伝えるべく、賛成討論をしました。請願者への寄り添い感のない反対討論にはがっかりです。女性であるとか若いとかが必ずしも子育て世代の市民の声を反映する条件ではないことを思い知りました。

入 場 料	
一般の方	¥500
掛川市在住の方	¥400
1歳未満は無料	

委員会陳述で、子育て真っ最中の当事者が言った「この料金ではうちは連れて行けません。誰もが気軽に利用できるように見直しを」の切実な思いは届かず、傍聴に来た友だちと悔し泣きしていました。「遊園地は高くても行く」「誰もが使う施設ではない。お金がかかるので料金設定は適切」との反対理由。

趣旨採択を求める動議は創世会を除く8人が賛成しましたが、これも否決。他市より高い料金設定の見直しを必要と考えない自民党の議員さんたちに失望しました。

高額療養費の自己負担上限額を

引き上げないことを国に求める請願

(住みよい掛川をつくる市民連絡会)

文教厚生委員会での継続審議

「医療費がかかると保険料の値上げにつながる。」「現役世代の負担が増す。」といった意見が交わされていましたが、今回最も影響を受けるのはがんや難病などで闘病する現役世代の患者さんです。医療のセーフティネットである高額療養費限度額は国が責任もって支えるべきもので、被保険者負担と考えること自体が誤りです。



がんや難病の患者団体の反発も大きく、今年8月の実施は撤回されたが、先延ばしした結論を白紙に戻しすることを早急に求める必要があります。

たまり～な 屋内遊び場 miroccoの 利用料金 見直しを 求める 請願の賛否 ○賛成 ×反対	共 ※	創 世 会											市民の声				共掛 ※	み ※			
	勝川志保子	藤原正光※	塩崎克彦	杉山康弘	小田つとむ	山田正彦	堀内宏樹	鷲山記世	安田 彰	石川紀子	山田浩司	高橋篤仁	松本 均	山本行男	山下浩章	藤澤恭子	窪野愛子	嶺岡慎悟	富田まゆみ	鈴木久裕	川上志満
	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○	○

議長(藤原)は採決には参加しません 共▶日本共産党議員団 共掛▶共に創る掛川 み▶みんなの波 (敬称略)



高額小中学校のタブレット(iPad)第2期更新 補正予算及び契約に反対

県の一括購入に乗っかり、約5.66億円の随意 小1からの1人一台端末の貸与は、立ち止ま 契約で静岡市の業者を通して購入します。北 欧 っ て検証することが必要。選択肢なく急がせ特 など IT 機器を早くから教育に導入した国では、 定企業に維持管理含めて長期的に依存すること 弊害が大きいとして見直しがはじまっています。 にもなるGIGAスクール構想に賛成できません。

2020年度にはタブ レット端末代約6.3億 円、ネット環境整備費 やソフト導入費なども 含めると総額12億円 ほど支出しています。